

井戸の傍らの女性

その女性の名前は知り得ません。町のはずれにある井戸に、一人歩いて向かってくる彼女の姿が私の頭のなかに浮かんでいきます。彼女は暑い真昼の時間に一人、水瓶をかついで来たのです。町に住む他の女性達は皆、朝の涼しいうちに井戸に水を汲みにやって来ます。しかし、その彼女は違いました。彼女は人目にさらされて、人々の陰口や噂的になることを避けるために。。

彼女が井戸まで来た時、ある一人の男性が井戸の傍らに腰掛けているのに気づきました。彼はユダヤ人の男性でした。それは彼の着ている服装や髪型を見ればすぐにわかります。「何も関わらない方がいいわ。」と思いき、彼女はさっさと水を汲み始めました。しかし、何とその男性は彼女に「水をください。」と話しかけて来たのです！

少し恥ずかしげに、彼女が一番最初に聞こうとした事は「なぜユダヤ人のあなたが、サマリアの女である私に水を頼むのですか。」という事でした。なぜならユダの王国が二つに分裂して以来、1000年以上もわたって、サマリアとユダヤは犬猿の関係にあったのです。たとえ、この二つの国（文化）が同じ神様を崇めているにもかかわらず。。

その男性は奇妙な答えを返しました。「もしあなたが、神の賜物を知り、また、あなたに水を飲ませてくれという者がだれであるかを知っていたなら、あなたのほうでその人に求めた事でしょう。そしてその人はあなたに生ける水を与えたことでしょう。」その言葉に彼女はまた驚き、「この人は水を汲むものささえも持っていないのに、一体何を言ってるのでしょうか。」と不思議に思いました。さらに彼が発した言葉で彼女は仰天しました。「この水を飲む者はだれでも、また渴きます。しかし、わたしが与える水を飲む者はだれで

も、決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠へのいのちへの水がわき出ます。」

彼女は立ち止まって考えずにいられませんでした。何と深い宣言なのでしょう。永遠のいのち？決して渴くことがない？いったい彼は何を言っているのでしょうか？現実的な彼女は、もし私も彼女ならばしたであろう事をしました。「もう二度とここまで毎日水を汲みに来なくてもいいために、私にその水をください。」とその男性に求めたのです。

もう臆病であった彼女の姿はなく、大胆に彼にその水を求めたのです。さて、彼は何と答えたのでしょうか。何と彼は、彼女に「行って夫を連れてくるように」と言ったのです。近くの茂みの中で鳥が羽をはばたかせ、遠くで羊の鳴き声が聞こえるほかには、全くの静寂でした。さあ、彼女は何と答えるべきでしょう。これこそが彼女の人生の中での最大の傷であり、汚点だったのです。彼女は過去の男性達との関係をとても恥じていました。彼女はただ頭をうつむかせて、こう言うほかはありませんでした。「私には夫がありません。」

沈黙は逆に耳を突き刺すようでした。しかし、彼女がその頭を持ち上げた時、その男性はそのことを詮索するのではなく、ただ答えたその言葉に彼女は思わず息を飲みました。「もったもです。あなたには夫が五人あったが、今あなたといっしょにいるのは、あなたの夫ではないからです。」

こんなことが、あり得るのでしょうか！「なぜこのお方が、そのことを知っているのでしょうか？」自分の秘密が明かされて、彼女は羞恥心で打ち砕かれました。この人は神の人に違いない。「何と答えたらいいのでしょうか。」彼女はしばらく考えました。「私の過去を話すことはできないわ。それはあまりにも辛すぎるから。」

キルトの作り方への参照

セクション1：男性たち

そして、彼女は知らずうちにも、その当時、そこでいつも議論されていた内容を尋ねていたのです。それは、神を礼拝する場所は町の山の上なのか、エルサレムですべきなのか、と質問したのです。

私には彼女の誠実さが、この質問からよく伝わってきます。彼女は水を汲むことなど、もうすっかり忘れてしまってます。もしかしたらこの男性が、彼女の人生を修正する何か手がかりを与えてくれるかもしれないと思い始めていたのです。しかし、彼は神をどこで礼拝するべきか、などとは答えませんでした。ただこのように答えたのです。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」

この言葉は彼女にとって衝撃でした。何かがひもとかれ、意味が分かり始めたのです。神を礼拝するということは、ある特定の文化や民族によって決められるようなことではないのだ。彼女は水瓶を井戸の傍に置いて、男性の前ですくっと立ち上がりました。二人が立って、顔と顔を向き合わせた時、彼女ははっきりと希望に満ちて宣言したのです。「私は、キリストと呼ばれるメシヤの来られることを知っています。その方が来られるときには、いっさいのことを私たちに知らせてくれるでしょう。」

何年たってもこの感動的な場面にくると、私は涙が出てしまうのです。男性の威厳に満ちた目が彼女の目をじっと見つめ、こう言いました。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」このようなことを言う人に彼女は出会ったことはありませんでした。

この方こそメシヤ（救い主）だったのです！

キルトブロックの作り方を参照

セクション2：井戸と質問

そこで数人の男達が井戸にやってきたため、会話が邪魔されてしまいました。そして彼女は、もうすっかり水汲みのことは忘れてしまい、水瓶を置いたまま町へ急いで駆けて行ったのです。

町に駆けて行く間、彼女が何を思っていたのかは分かりません。ただ、走りながら、彼女の目には涙が溢れていたことは想像できます。彼女の心は、たった今起こった奇跡的な出会いと出来事によって満たされていました。恥と罪責感でいっぱいだった人生を送っていた私が、どうしてこの世の人類の救い主、キリストに出会うことなどできたのでしょうか！「やっと分かったわ！」こうして彼女の深い恐れは取り去られました。

ついに町まで走り着きました。そこは普段、彼女が避けている人々がいる場所です。しかし彼女はたった今、彼女が出会った男性との間に起こったことや会話を人々に話したのです。そして彼女は皆に、彼こそがキリストであること、そして彼を信じるようにと挑んだのです。

キルトブロックの作り方を参照

セクション3：コミュニティー

その噂は町全体に、すぐに広まりました。町の人々はキリストに会うため井戸にやって来て、彼を自分たちの家に招待しました。

町の人々は、こう言いました。「もう私たちは、あなたが話したことによって信じているのではありません。自分で聞いて、この方がほんとうに世の救い主だと知っているのです。」

宗教的思想の混乱や論争が絶えなかったその町が、ついにこの世の救い主を見つけたのです。孤独でいつも羞恥心で重かった彼女の人生は、キリストによって解放されたのです。彼女は生ける水を井戸で見つけたのです。その水は永遠のいのちでした。

キルトブロックの作り方を参照

セクション4：キリストと女性

この歴史的出来事は聖書の中にあるヨハネの福音書、4章に書かれてあります。イエスキリストの生きていた2000年前の時代も、今の時代に生きる私たちと同じです。私たちがこの女性と同じく、自分の過去の失敗や罪がゆるされ、愛される必要があるのです。

その井戸の傍らで、この女性は素晴らしい発見をしました。ここで少し私自身の人生と照らし合わせてみましょう。

このキリストが私たちに与えてくださる「生ける水」とはとても単純なことなのです。それは神は確かに存在している、ということを知ることから始まります。私たちは皆、神を知りたいと心のどこかで求めているのです。

「神は人の心に永遠への思いを与えられた。」（伝道者の書3章11節）

「もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、私を見つけるだろう。わたしはあなたがたに見つけられる。」（エレミヤ29章13-14節）

また私たちは皆、自分の中にある罪の性質が赦される必要があるとどこかで感じていることを聖書は述べています。少し考えてみませんか。私たちは誰もが多かれ少なかれ、悪いこと（罪）を人生の中で犯してしまっています。この井戸の女性のように、本当に悪いことをした人もいます。彼女は悪い事と分かっていたけれども、次から次へと相手を変えて、渴ききった人生を男性によって満たそうとしていたのです。小さな罪であれ、大きな罪であれ、どんな罪であっても神にとっては罪なのです。聖書にはこのように書かれています。

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受ける事ができず、」（ローマ人への手紙3章23節）

次に、多くの人々が誤解している事柄についてお話ししましょう。この考え方はどの国の、どの時代の中でもあるのです。それは、もしわたしたちが何か「良い行い」をすれば私たちの「悪い行い」に対して償いをし、バランスをとることができるというような考え方です。それは間違っています。事実、聖書にはこう書かれています。「律法を行うことによって、だれひとり神の前に義と認められないからです。」（ローマ人への手紙3章20節）

「それならば一体どうすれば神の前に認められるのですか。」と聞きたいでしょう。その答えは、恵み深い神は神のひとり子であるイエスキリストを私たちの罪のあがないのために、この地に送ってくださったという事実を受け入れ信じることなのです。イエスキリストは私たちすべての人の罪をとりなすために十字架のうえで死なれました。（イザヤ書53章5節）そして三日後によみがえられました。イエスの「死からのよみがえり」という出来事は、この地上で一番難しい、到底ありえないであろう「罪の赦し」を可能にする証になったのです。それではどうやってその罪の赦しというものを受け取ることができるのでしょうか。ここが最もワクワクするところです。イエスキリストに、ただお願いするのです！聖書はイエスについて、こう言っています。「この方以外には、だれによっても救いはありません。」「イエスについては、預言者たちもみな、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる、とあかししています。」（使徒の働き4章12節、10章43節）

井戸の女性は喜びに満ちていました！これは素晴らしい知らせです。今、あなたもキリストに赦しを求めてみませんか？一緒に祈ってみましょう。

「神様、私は自分の今までの人生の中で正しくないことをしてしまったことがあります。その罪をどうか赦してください。どうか私の罪を取り除き、あなたが私に願う人生を送ることができるように助けてください。あなたのひとり子、イエスキリストを通して、私を赦してくださいことを信じます。」

あなたがこの祈りを今日、または以前したことがあるならば、それは素晴らしい喜びなのです！あなたはイエスを信じるクリスチャンとなったのです！イエスご自身が、こう言っています。「わたしの父のみこころは、わたしにあたえてくださったすべての者を、わたしがひとりも失うことなく、ひとりひとりを終わりの日によみがえらせることです。」（ヨハネの福音書6章40節）これこそが、井戸の傍らでその女性が求めた「生ける水」のことなのです。

キルトブロックの作り方を参照

セクション5「ブロックの組み立て方」

あなたは神に自分の罪の赦しを求めたでしょうか。そうしたならば、私はあなたにすぐにでも次のことをするように願います。まず、あなたが他のクリスチャン達と信仰を分かち合い、共に成長することのできる教会を見つけてください。そして、聖書を読み始めましょう。聖書は神ご自身の生きた言葉なのです。この井戸の女性の話が書かれてあるヨハネの福音書から読み始めることもよいでしょう。また、あなたの信仰の決心を是非、他の人たちにも分かち合ってみてください。もし時間があれば、私にも是非お聞かせください。（私のEmailアドレスは、型紙の裏に書いてあります。）私もあなたと一緒に祝いしたく思います！

キャシーマイリック

作り方を参照

セクション6「キルトの組み立て」

井戸の女

ブロックとキルトの構成

126cm x 176cm の大きさのキルトを作るためには、全部で24ブロックが必要となります。すべての型紙には縫い代が含まれています。（点線にそって型紙を切りとり、実線を縫います。）

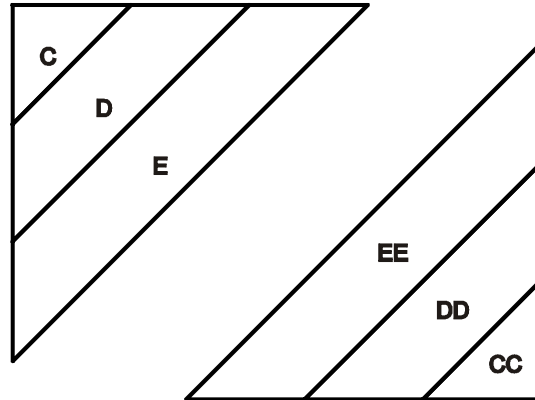
セクション1：男たち

それぞれの型は、井戸の女性の人生にかかわった男性一人一人を表しています。そのうちの5人は彼女の元夫であり、一人は今彼女と一緒に暮らしている男性を表しています。

ブロックの作り方

切る 型紙に合わせて C,CC,D,DD,E,EE をそれぞれ一枚ずつ、6種類の布で切る。

縫う C,D,E を縫い合わせる。CC,DD,EE を縫い合わせる。



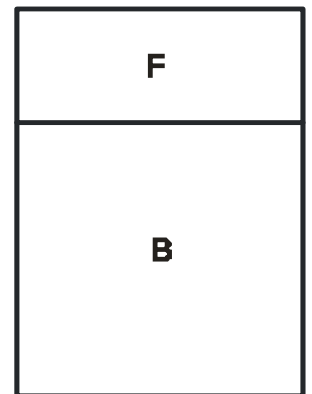
セクション2：“井戸と質問”

型紙Bの井戸はこの話の重要なポイントとなります。それぞれ異なった形の型紙F,G,GG,Hは、霊的混乱をあらわしています。

ブロックの作り方

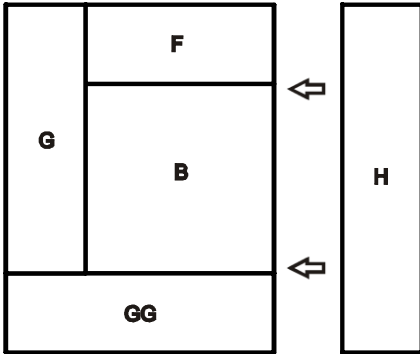
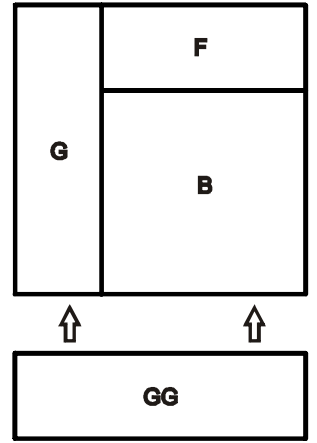
切る 型紙B,F,G,GG,Hをそれぞれ切る

縫う それぞれのピースを図の通り「ログキャビン」スタイルで縫い合わせていく。まずBとFを縫い合わせる。縫い代をFの方向に倒して、アイロンで押さえる。



図の通り、GのピースをB/Fに縫い合わせ、縫い代をGの方向に倒して、アイロンで押さえる。

GGのピースをさきほど出来上がったG/Bに縫い合わせ、縫い代をGGの方向に倒して、アイロンで押さえる。



Hのピースを先ほど出来上がったF/B/GGに縫い合わせ、縫い代をHの方向に倒してアイロンで押さえる。

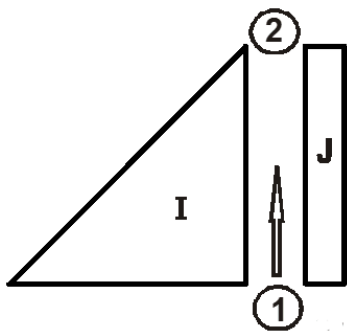
セクション3：コミュニティーと十字架

薄い色の布を選んで、三角に使う。これらの三角は、井戸の女性が駆け足で、イエスキリストの出会いを伝えるに行った町をあらわしています。濃い色の布を選んで長方形である「十字架」に使う。この十字架はブロックを通してキルト全体に浮かび上がります。この十字架はある人にとってはやっかいなものですが、またある者にとっては大きな赦しの力となるのです。

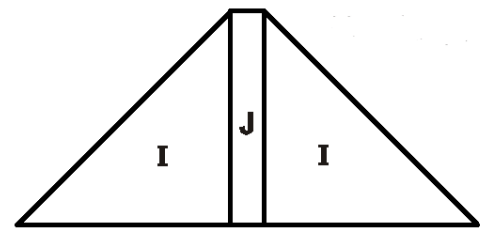
作り方：

切る 型紙I（8枚）型紙J（4枚）

縫う 三角形のIを長方形のJに縫い合わせる。注意：ミシン縫いの場合は図のように1から2の方向に向かって縫う。



1から2の方向に縫う



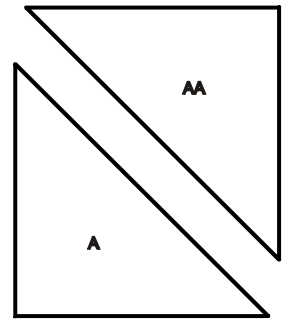
96セット作る

セクション4：キリストと女

この世の救い主キリストと女性をあらわす2枚の三角形をつなぎあわせる段階に来ました。

ブロックの作り方

切る 型紙 A と AA をそれぞれ一枚ずつ切る

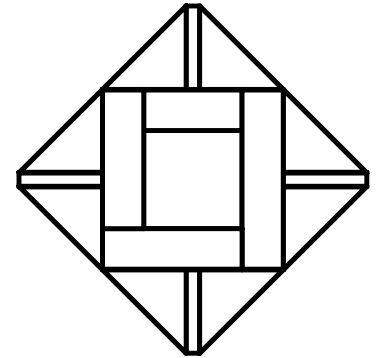


セクション5：ブロックの組み立て

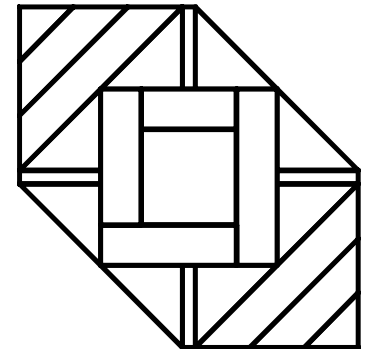
いよいよブロックの組み立てです。

ブロックの組み立て方

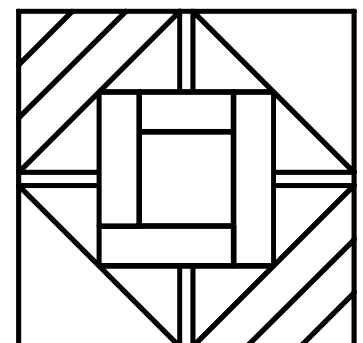
縫う 三角形のユニット（セクション3）をログキャビン（セクション2）のそれぞれの辺に縫い合わせる。



3人の男たち（セクション1）を図のように対角に縫い合わせる。



大きな三角形2枚を（セクション4）を図のように残りの2辺に縫い合わせる。



注意：それぞれのブロックを組み立てるために、すべてのブロックは同じレイアウトで作ります。ブロックは、組み立て時に回転して配置されます。

ブロックを組み立て完成させるためには 合計 24 ブロックが必要となります。

セクション 6：キルトの組み立て

キルトが組み立てられていくと、その女性の新しい人生の美しさが浮かび上がってきます。

キルトの組み立て方：

広い場所で 24 ブロックすべてを横 4 縦 6 段に並べます。キルトの完成図の絵柄を参考にブロックを回転させながら並べていきます。

縫う まず横の 4 ブロックをそれぞれ縫い合わせます。そのあと縦の 6 段をつなぎ合わせます。

切る 内側ボーダーのストリップを 3cm の幅（縫い代 0.5cm を含む）で切る。縫い合わさった後はこのストリップの幅は 2 cm に仕上がります。ストリップの端と端を縫い合わせて一つの長いストリップにします。およそ 5 m ほどの長さになります。出来上がったストリップを横の幅の長さに合わせて二本切り、キルトの上下に縫い付けます。次にストリップを横の長さに合わせて 2 本切り、キルトの右と左側に縫い付けます。

切る 外側用ボーダーのストリップを 11cm の幅に切る（縫い代を含む）。この外側ボーダーストリップは完成時に 10 cm の幅に仕上がります。内側ボーダーを同じテクニックで一つの長いストリップ（およそ 5.2m の長さになります）

キルト 出来上がったレイヤー（トップ、バッティング、バックング）を手縫いかミシンでキルトにする。

切る バインディングのストリップを 6 cm の幅に切り、半分に折ります。このストリップは出来上がった時に約 1 cm 幅となります。先述のテクニックで一本の長いストリップを作ります。約 5.2 m の長さになります。このバインディングストリップを 3 枚のキルトの上に置き、キルトの周りを縫います。ストリップを折り返し、裏に返して、キルトの周りに縫い付けます。

出来上がりです。あなたがつなげた手作りのキルトをお楽しみください。